

【4年生、5年生 国語】「心情の読み取り」

課題の設定：第一場面の心情を、読み取る

情報の収集：教科書の言葉に注目して心情がわかる言葉集める

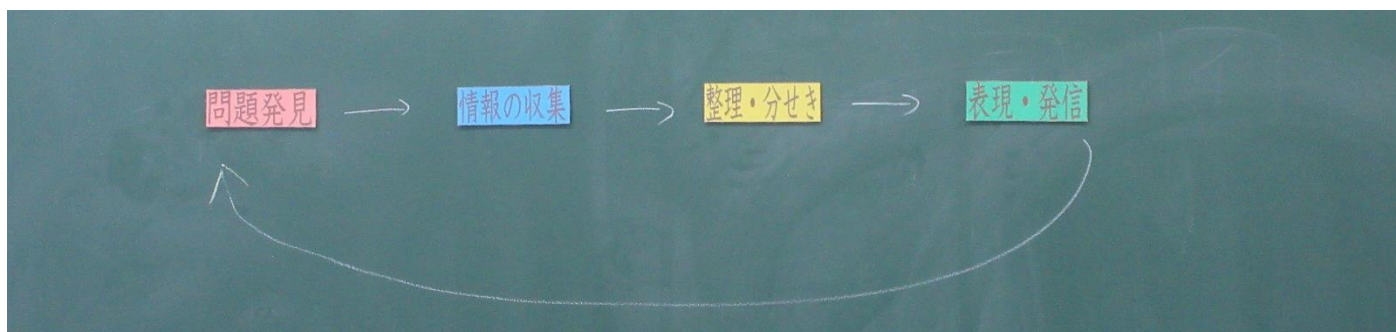
整理・分析：集めた言葉から感じ取った心情を、友だちの意見と比較検討する

まとめ・表現：自分の表現方法でまとめる

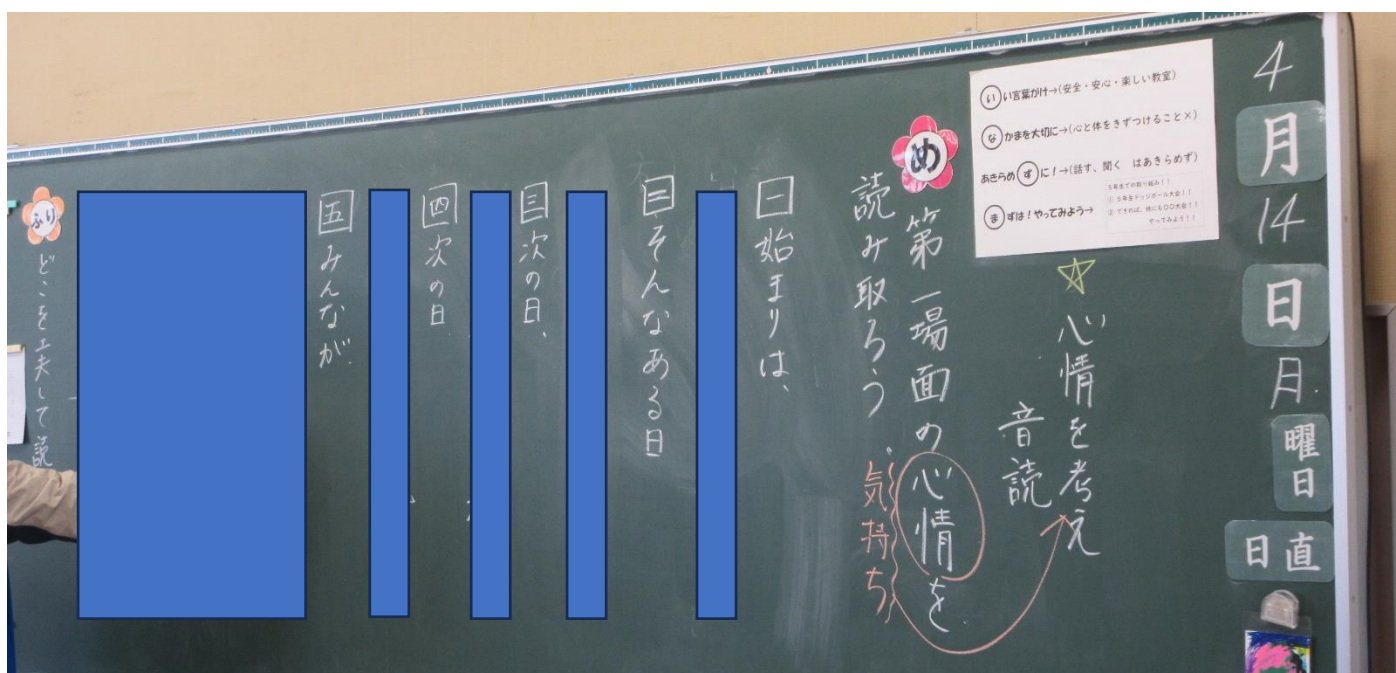
パフォーマンス評価「S」：□場面の主人公の心情を、根拠を的確に示して表現できる

パフォーマンス評価「A」：□場面の主人公の心情を、自分の言葉で表現できる。

- ・探求における子どもの学習の姿は、年度のはじめにまず示し、適宜繰り返し伝える



- ・単元全体計画を最初に明示

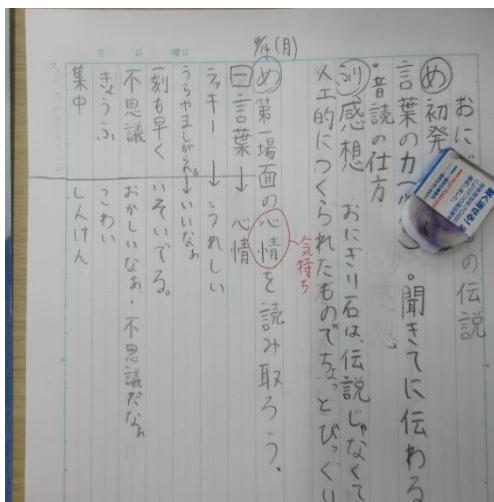


指導上の留意点

- ・単元全体の学習計画の明示 「時・人・場」の変化に着目して、心情やその変化を読み取る
- ・他者参照（タブレット、教科書、教材、本、など）の環境を事前に整えること
- ・どの情報を選ぶのか、だれと学習するのかは、子どもが決めること

【5年生】

・個人で考えたメモ



・時に先生と相談し、タブレットも活用（個別最適な学び）

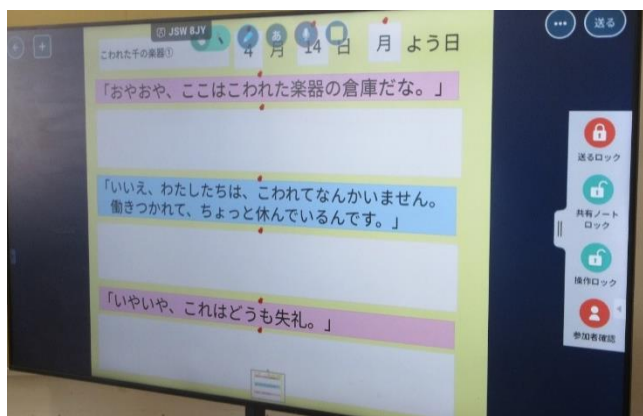


・考えが近い人を自分で探して、対話を重ねて考えを深める（対話的な学び）



【4年生】

・整理分析を助けるワークシート



・共有ノートで過程を共有 共同学習する仲間探し

